

# ガイド資格 職能別資格検定試験詳細規定 1.

平成22年4月1日  
社団法人日本山岳ガイド協会  
試験委員会

## 自然ガイド分野

### 自然ガイドステージⅠ

#### ●職能範囲

国内において無積雪期の森林、野山、河川を含む、人間社会と隣接する里地・里山地域及び山地・高原での自然や民俗を解説するエコツアーなどの自然ガイド行為を行うことができる。

#### ●受験資格

・満20歳以上で健康で体力があり、通算100日以上自然活動経験有する者。

#### ●受験申請書類（筆記試験申請時提出書類）

- ①受験申請書＋顔写真3枚
- ②住民票
- ③自然活動歴報告書、ガイド歴がある場合にはその報告書
- ④健康診断書（受験申込前6ヶ月以内に受診したもの）
- ⑤検定試験受験誓約書

#### ●筆記試験（一次試験）

- ・一次試験合格者が二次試験の実技検定試験を受験できる
- ・筆記試験料 20,000円
- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除されるため、受験料は15,000円

#### ●筆記試験科目

試験科目	出題内容
共通科目 基礎的知識	<ol style="list-style-type: none"><li>① スポーツ科学の知識</li><li>② 地球物理、気象、動植物、地理、地質、地形に関する知識</li><li>③ 農山村の経済と歴史、民俗の知識</li><li>④ 山地、里地・里山の環境の知識</li><li>⑤ 自然環境保全知識</li></ol>
共通科目 ガイド業務関連知識	<ol style="list-style-type: none"><li>① ガイド業務関連法（自然公園法、道路運送法、旅行業法、旅館業法、鳥獣保護法、森林・林業法、環境基本法、自然保護法など）</li><li>② ガイド倫理およびマナー</li></ol>

専門科目 自然ガイド専門知識	① 里山を中心とする植物、動物、鳥類の生態系などに関する自然の知識 ② 気象の知識 ③ 読図の知識 ④ 自然観察と解説に関する知識 ⑤ エコツーリズムなど自然環境の保全や利用に関する知識
専門科目 安全管理	① 安全管理知識および危急時対応に関する知識 ② 行動中の健康管理に関する知識 ③ セルフ・レスキューに関する知識
小論文	・ガイドの役割や責務、およびガイドの資質について問う ・自然の知識と解説能力を問う

- ・筆記試験の実施は他のガイド種別と同時に行う。
- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除される。

●一次試験の有効年数

一次試験の合格有効年数は、合格通知書発行日から5年目の当該日までとする。

●実技検定試験（二次試験）

各実技科目の提出書類

- ①受験申込書
- ②最初の申請時提出書類から変更のあった内容についての再提出部分
- ③山岳遭難保険申込書または加入済証券の写し

●実技検定試験科目および検定試験料

検定項目	検定地	日数	検定試験料	備考
無積雪期自然観察ルートガイディング 自然観察指導技術、安全管理技術	日本国内	2日	28,000	免除規定 (注1)
延べ日数計		2日		

(注1) 認定養成指導者による同等の検定を経て免除することが出来る。この場合、10,000円の審査料となる。

●実技検定試験内容

検定科目	検定内容
無積雪期自然観察ルートガイディング 自然観察指導技術、安全管理技術	① 無積雪期のルートガイディング技術と歩行技術 ② セルフ・レスキュー、ロープ操作と固定ロープの方法 ③ 自然観察と解説および安全管理
筆記試験	実技検定試験に付帯する筆記試験を実施する場合がある。

●各科目の有効年数

一次試験を除く、各科目の合格有効年数は、合格通知書発行日から3年目の当該日までとする。

●ガイド資格認定

全科目に合格した者へは、ガイド資格認定通知書を発行する。認定通知書受給者でガイド業務を行う者は、本会正会員団体に入会し、正会員団体より手続を行う。正会員団体より所定の入会金

および年会費が納付された後、本会よりさらにガイド資格証（本会正会員証）およびガイドバッヂを付与する。すでに会員である場合には、年度中では資格間の会費（入会金および年会費）差額のみ徴収し、新資格のガイド資格証を付与する。

●資格更新について

資格更新は3年毎に2日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。自己の有効期限内に満65歳に達したとき、その間1回以上の資格更新研修会を履修し次の資格有効期間を確定している者は、その後3年毎に2日間の机上研修を受講し更新申請する。

(更新のながれ) ①資格更新研修申請書+研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書

●実技検定には受験者6名以内に対して1名の検定員を配置する。

自然ガイド ステージII

●職能範囲

国内において四季を通じて森林、野山、河川を含む、人間社会と隣接する里地・里山地域及び山地・高原での自然や民俗を解説するエコツアーなどの自然ガイド行為を行なうことが出来る。

●受験資格

- ・満20歳以上で健康で体力があり、本会の「自然ガイド ステージI」資格を有する者。
- ・ステージIの試験から連続して受験する場合は、ステージIの無積雪期実技試験を合格した者。
- ・通算100日以上自然活動経験を有し、内10日以上積雪期の自然活動経験を有する者。

●実技検定試験（二次試験）

各実技科目の提出書類

- ①受験申込書
- ②最初の申請時提出書類から変更のあった内容についての再提出部分
- ③山岳遭難保険申込書または加入済証券の写し

●実技検定試験科目および検定試験料

検定項目	検定地	日数	検定試験料	備考
積雪期自然観察路ルートガイドング 自然観察指導技術、安全管理技術	日本国内	2日	¥30,000	免除規定 (注1)
延べ日数計		2日		

(注1) 認定養成指導者による同等の検定を経て免除することが出来る。この場合、10,000円の審査料となる。

●実技検定試験内容

検定科目	検定内容
積雪期自然観察路ルートガイドング 自然観察指導技術、安全管理技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 積雪期のルートガイドング技術と歩行技術</li> <li>② 雪上でのスノーシュー、軽アイゼンなどの用具の使い方及び指導能力</li> <li>③ 自然観察と解説及び安全管理</li> </ul>

●ガイド資格認定

実技検定試験に合格した者へは、ガイド資格認定通知書を発行する。認定通知書受給者でガイド業務を行う者は、本会正会員団体に入会し、正会員団体より手続を行う。正会員団体より所定の入会金および年会費が納付された後、本会よりさらにガイド資格証（本会正会員証）およびガイドバッジを付与する。すでに会員である場合には、年度中では資格間の会費（入会金および年会費）差額のみ徴収し、新資格のガイド資格証を付与する。

●資格更新について

資格更新は3年毎に2日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。自己の有効期限内に満65歳に達したとき、その間1回以上の資格更新研修会を履修し次の資格有効期間を確定している者は、その後3年毎に2日間の机上研修を受講し更新申請する。

(更新のながれ) ①資格更新研修申請書+研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書

●実技検定には受験者6対して1名の検定員を配置する。

## 登山ガイド

●職能範囲

国内において無積雪期山地および山岳地でのよく整備されたルート（注）、および四季を通じた山地、高原などの地域での登山ガイド行為を行うことができる。

(注) 一般のガイドブック等で難路、険路、不整備、岩場技術、及び氷雪技術が必要とされるところは含まない。本会の定めるガイディング・グレード表の登山ガイドの範疇を参照。

但し、オフピステスキーおよびその分野に該当するもの（注）を選択した者は当該分野のガイド行為ができる。

(注) テレマークスキー、スノーボード等々によるガイディングがこれにあたる。

●受験資格

・満20歳以上で健康で体力があり、通算120日以上の登山経験を有し、内20日間が積雪期である者。

●受験申請書類（筆記試験申請時提出書類）

①受験申請書+顔写真3枚

②住民票

③登山経験報告書、ガイド歴がある場合にはその報告書

④健康診断書（受験申込前6ヶ月以内に受診したもの）

⑤検定試験受験誓約書

●筆記試験（一次試験）

・一次試験合格者が二次試験の実技検定試験を受験できる

・筆記試験料 20,000円

・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除されるため、受験料は15,000円

・里山ガイド資格取得者（推薦ガイド資格は除く）は筆記試験が免除される。

●筆記試験科目と適性検査

試験科目	出題内容
共通科目 基礎的知識	① スポーツ科学の知識 ② 地球物理、気象、動植物、地理、地質、地形に関する知識 ③ 農山村の経済と歴史、民俗の知識 ④ 山地、里地、里山の環境の知識 ⑤ 自然環境保全知識
共通科目 ガイド業務関連知識	① ガイド業務関連法（自然公園法、道路運送法、旅行業法、旅館業法、鳥獣保護法、森林・林業法、環境基本法、自然保護法など） ② ガイド倫理およびマナー
専門科目 登山ガイド専門知識	① 登山技術一般、山岳および登山道に関する知識 ② 山地、里山を中心とする植物、動物、鳥類の生態系などに関する自然の知識 ③ 気象の知識 ④ 読図の知識 ⑤ 自然観察と解説に関する知識 ⑥ 積雪期の知識 ⑦ エコツーリズムなど自然環境の保全や利用に関する知識
専門科目 安全管理	① レスキューに関する知識 ② 安全管理知識および危急時対応に関する知識 ③ 登山時の健康管理に関する知識 ④ 環境要因による疾病に関する知識 ⑤ セルフ・レスキューに関する知識
小論文	・ガイドの役割や責務、およびガイドの資質について問う ・自然の知識と解説能力を問う

- ・筆記試験実施は、他のガイド種別と同時に行う。
- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除される。
- ・里山ガイド資格取得者（推薦ガイド資格は除く）は筆記試験が免除される。

●一次試験の有効年数

一次試験の合格有効年数は、合格通知書発行日から5年目の当該日までとする。

●実技検定試験（二次試験）

各実技科目の提出書類

- ①受験申込書
- ②最初の申請時提出書類から変更のあった内容についての再提出部分
- ③山岳遭難保険加入申込書または加入済証券の写し

●実技検定試験科目および検定試験料

・里山ガイド資格取得者（推薦ガイド資格は除く）及び平成21年度の自然ガイドステージⅡ資格取得者が登山ガイド資格を受験する場合は、検定試験科目の「無積雪期ルートガイディング自然観察指導技術、安全管理技術」および「積雪期ルートガイディング自然観察指導技術、安

全管理技術」が免除される。義務講習受講のみ必要である。

- ・自然ガイドステージⅠ資格取得者および平成22年度以降の自然ガイドステージⅡ資格取得者が登山ガイド資格を受験する場合は、検定試験科目「無積雪期ルートガイディング自然観察指導技術、安全管理技術」が免除される。「積雪期ルートガイディング自然観察指導技術、安全管理技術」の受験と義務講習受講が必要である。

検定項目	検定地	日数	検定試験料	備考
無積雪期ルートガイディング 自然観察指導技術、安全管理技術	日本国内	2日	¥30,000	免除規定(注1) 免除規定(注4)
積雪期ルートガイディング 自然観察指導技術、安全管理技術	日本国内	2日	¥30,000	免除規定(注2) 免除規定(注5)
オフ・ピステ スキーガイディング	日本国内	3日	¥35,000	免除規定(注3) 選択科目
延べ日数(選択科目を除く)		4日+		

(注1) 認定養成指導者による同等の検定を経て免除することが出来る。この場合、10,000円の審査料となる。

(注2) 認定養成指導者による同等の検定を経て免除することが出来る。この場合、10,000円の審査料となる。

(注3) 認定養成指導者による同等の検定を経て免除することができる。この場合、10,000円の審査料となる。

(注4) 里山ガイド資格取得者(推薦ガイド資格者は除く)および自然ガイド資格取得者は免除される。

(注5) 里山ガイド資格取得者(推薦ガイド資格者は除く)および平成21年度の自然ガイドステージⅡ資格取得者は免除される。

### ●実技検定試験内容

検定科目	検定内容
無積雪期ルートガイディング 自然観察指導技術、安全管理技術	① 無積雪期でのルートガイディング技術と歩行技術 ② セルフ・レスキューとロープ操作、固定ロープの方法、ショートロープ技術 ③ 自然観察と解説および安全管理
積雪期ルートガイディング 自然観察指導技術、安全管理技術	① 積雪期でのルートガイディング技術と歩行技術、ショートロープ技術 ② 雪上での用具の使い方、指導能力 ③ キックステップ技術およびステップカッティング技術 ④ 氷上歩行とアイゼン等器具の使用技術 ⑤ 自然観察と解説および安全管理
オフ・ピステ スキーガイディング (選択科目)	① 山岳スキーガイディング技術 ② 山岳における登高・滑降技術
筆記試験	実技検定試験に付帯する筆記試験を行う場合がある。

### ●各科目の有効年数

一次試験を除く各科目の合格有効年数は、合格通知書発行日から3年目の当該日までとする。

### ●受験者義務講習会

講習項目	講習地	日数	講習料	備考
レスキュー技術 基礎	日本国内	2日	¥25,000	検定は行なわない
雪崩対策技術 基礎	北海道	3日	¥30,000	検定は行なわない
雪崩対策技術 基礎	立山	3日	¥30,000	検定は行なわない
雪崩対策技術 基礎	柵池	3日	¥30,000	検定は行なわない

受験者義務講習会は、ガイドの安全管理にとって重要な科目であり、筆記および実技検定試験合格後、速やかに受講しなければならない。また、本科目を受講しない場合には認定通知書が発行されないため、予め講習会受講日程をよく把握して置くこと。

#### ● 受験者義務講習会内容

講習科目	講習内容
レスキュー技術 基礎	① 搬送技術 ② 引き上げ技術（1：1、2：1） ③ 降ろし技術 ④ 応急処置と露營技術
雪崩対策技術 基礎	① 雪崩予知技術 ② 雪崩からのレスキュー技術と露營技術

#### ● ガイド資格認定

全科目に合格し、且つ、受験者義務講習を終了した者へは、ガイド資格認定通知書を発行する。認定通知書受給者でガイド業務を行う者は、本会正会員団体に入会し、正会員団体より手続きを行う。正会員団体より所定の入会金および年会費が納付された後、本会よりさらにガイド資格証（本会正会員証）およびガイドバッジを付与する。すでに本会会員である場合には、年度中では資格間の会費（入会金および年会費）差額のみ徴収し、新資格のガイド資格証を付与する。

#### ● 資格更新について

資格更新は3年毎に2日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。自己の有効期限内に満65歳に達したとき、その間1回以上の資格更新研修会を履修し次の資格有効期間を確定している者は、その後3年毎に2日間の机上研修を受講し更新申請する。

（更新のながれ）①資格更新研修申請書＋研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書

#### ● 実技検定には受験者6名以内に対して1名の検定員を配置する。但し、雪崩、レスキュー講習は7名以内に対して1名の検定員配置とする

#### 認定養成指導者による同等の検定：

本会の認定する養成指導者は、本会の検定審査方法に従って、同等の実技検定試験を実施することができる。この場合、認定養成指導者は、受験申請日から起算して遡って2年以内の同等検定について、本会実技検定試験免除の推薦をすることが出来る。但し、この推薦の有効年数は、自然ガイド、山岳ガイド分野に係わらず、一次試験の受験申請受付日から3年目の当該日までとする。

（参考：本会のガイド養成指導者認定に関する規定）

## 山 岳 ガ イ ド 分 野

### 山岳ガイド

#### ●職能範囲

国内において困難な岩壁、氷壁ルートを除き、全ての地域（注）で季節を問わず山岳ガイド行為を行うことができる。

（注）本会の定める登攀ガイディング・グレード表の2級上ルート以下

但し、山岳スキーおよびその分野に該当するもの（注）を選択しなかった者は、これを除く。

（注）テレマークスキー、スノーボード等々によるガイディングがこれにあたる。

#### ●受験資格

- ・満20歳以上で健康で体力があり、本会の定める登山経験・技術基準を満たす者。
- ・通算300日以上登山経験を有し、内60日間が積雪期である者。岩壁、岩稜あわせて10ルート以上その中で3ルート以上は、4級ルート以上を、一部または全部をリードできること。

#### ●受験申請書類（筆記試験申請時提出書類）

- ①受験申請書＋顔写真3枚
- ②住民票
- ③登山歴報告書、ガイド歴がある場合にはその報告書
- ④免除規定が適用できる場合に必要な証明
- ⑤健康診断書（受験申込前6ヶ月以内に受診したもの）
- ⑥検定試験受験誓約書
- ⑦山岳遭難保険加入証書の写し

#### ●筆記試験および実技適性検査（一次試験）

- ・一次試験合格者が二次試験の実技検定試験を受験できる。
- ・一次試験とは、筆記試験と実技適性検査である。
- ・筆記試験料 20,000円
- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除されるため、受験料は15,000円
- ・実技適性検査料 15,000円

#### ●筆記試験科目および実技適性検査

試験科目	出題内容
共通科目 基礎的知識	<ol style="list-style-type: none"><li>① スポーツ科学の知識</li><li>② 地球物理、気象、動植物、地理、地質、地形に関する知識</li><li>③ 農山村の経済と歴史、民俗の知識</li><li>④ 山地、里地、里山の環境の知識</li><li>⑤ 自然環境保全知識</li></ol>
共通科目 ガイド業務関連知識	<ol style="list-style-type: none"><li>① ガイド業務関連法（自然公園法、道路運送法、旅行業法、旅館業法、鳥獣保護法、森林・林業法、環境基本法、自然保護法など）</li><li>② ガイド倫理およびマナー</li></ol>



専門科目 山岳ガイド専門知識	① 登山技術一般知識 ・登山道 ・岩稜 ・岩壁 ・沢 ・雪稜 ・雪壁 ② 山岳の自然知識 ③ 山岳の地理、地形、気象に関する知識 ④ 積雪期の知識
専門科目 安全管理	① レスキューに関する知識 ② 安全管理知識および危急時対応に関する知識 ③ 登山時の健康管理に関する知識 ④ 環境要因による疾病に関する知識 ⑤ セルフ・レスキューに関する知識
小論文	ガイドの役割や責務、およびガイドの資質について問う

- ・筆記試験実施は、他のガイド種別と同時に行う。
- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除される。

●実技適性検査

- ・クライミングの基礎的能力および体力度。
- ・実技適性検査の実施は、他のガイド種別と同時に行う。

●一次試験の有効年数

- 一次試験の合格有効年数は、合格通知書発行日から5年目の当該日までとする。

●実技検定試験（二次試験）

各科目の申請提出書類

- ①受験申込書
- ②最初の申請時提出書類から変更のあった内容についての再提出部分

●実技検定試験科目および検定試験料

検定項目	検定地	日数	検定試験料	備考
無積雪期 岩場・岩稜でのルートガイディング、 および登山道ルートガイディング 自然観察指導技術、安全管理技術	日本国内	4日	¥45,000	
レスキュー技術 初級	日本国内	2日	¥20,000	
積雪期ルートガイディング 氷雪技術、雪稜技術	日本国内	4日	¥45,000	
雪崩対策技術 総合	日本国内	3日	¥35,000	
オフ・ピステ スキーガイディング	日本国内	3日	¥35,000	免除規定（注1） 選択科目
山岳スキーガイディング	日本国内	4日	¥45,000	選択科目（注2）
延べ日数（選択科目を除く）		13日+		

（注1）認定養成指導者による同等の検定を経て免除することができる。この場合、10,000円の審査料となる。

(注2) 山岳スキーガイド資格は、オフ・ピステ スキーガイド資格を包括する。

●実技検定試験内容

検定科目	検定内容
無積雪期 岩場・岩稜でのルートガイド および 無雪期登山道ルートガイド 自然観察指導技術、安全管理技術	① 容易な岩壁、岩稜でのルートガイド技術（ルートグレード1～2級程度） ① 無積雪期でのルートガイド技術と歩行技術 ② ロープ操作、下降技術および固定ロープの方法 ③ 自然観察と解説および安全管理
レスキュー技術 初級	① 搬送技術 ② 引き上げ技術5m以上 ③ 降ろし技術 ④ 背負ってのカウンターラッセルによる降ろし技術 ⑤ 応急処置と露営技術
積雪期ルートガイド 氷雪技術指導能力 雪稜技術指導能力	① 積雪期でのルートガイド技術と歩行技術 ② 傾斜60度を含む10mの氷壁をカッティング等でリードする技術 ③ キックステップ技術およびステップカッティング技術 ④ 雪庇尾根上でリードする技術 ⑤ 用具の使い方、指導能力
雪崩対策技術総合	① 雪崩予知技術 ② 雪崩対策の器具使用技術 ③ 雪崩からのレスキュー技術
オフ・ピステ スキーガイド（選択科目）	① 山岳スキーガイド技術 ② 山岳における登行・滑降技術
山岳スキーガイド（選択科目）	① 山岳スキーガイド技術（露営等を含むロングルート） ② 山岳スキーレスキュー技術 ③ ホワイトアウトナビゲーション
筆記試験	実技検定試験に付帯する筆記試験を行う場合がある

●各科目の有効年数

一次試験を除く、各科目の合格有効年数は、合格通知書発行日から3年目の当該日までとする。

●ガイド資格認定

全科目に合格した者へは、ガイド資格認定通知書を発行する。認定通知書受給者でガイド業務を行う者は、本会正会員団体に入会し、正会員団体より手続を行う。正会員団体より所定の入会金および年会費が納付された後、本会よりさらにガイド資格証（本会正会員証）およびガイドバッヂを付与する。すでに本会会員である場合には、年度中では資格間の会費（入会金および年会費）差額のみ徴収し、新資格のガイド資格証を付与する。

●資格更新について

資格更新は3年毎に3日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。自己の有効期限内に満60歳に達したとき、その間1回以上の資格更新研修会を履修し次の資格有効期間を確定してい

る者は、その後3年毎に2日間の机上研修を受講し更新申請する。

(更新のながれ) ①資格更新研修申請書+研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書

- 実技検定には受験者4名以内に対して1名の検定員を配置する。但し、雪崩検定は5名に対して1名、山岳スキー検定は6名に対して1名の検定員配置とする。

**認定養成指導者による同等の検定：**

本会の認定する養成指導者は、本会の検定審査方法に従って、同等の実技検定試験を実施することができる。この場合、認定養成指導者は、受験申請日から起算して遡って2年以内の同等検定について、本会実技検定試験免除の推薦をすることが出来る。但し、この推薦の有効年数は、自然ガイド、山岳ガイド分野に係わらず、一次試験の受験申請受付日から3年目の当該日までとする。

(参考：本会のガイド養成指導者認定に関する規定)

以上

## ガイド資格 職能別資格検定試験詳細規定 2.

平成22年4月1日  
社団法人日本山岳ガイド協会  
国際部会

### 登攀ガイド

#### ●職能範囲

日本国内で季節を問わず全ての山岳ガイドおよびインストラクター行為を行うことができる。  
但し、山岳スキーおよびその分野に該当するもの（注）を選択しなかった者は、これを除く。  
（注）テレマークスキー、スノーボード等々によるガイドングがこれにあたる。

#### ●受験資格

- ・満22歳以上で本会の「山岳ガイド資格」を有し、かつ、山岳ガイドとして2年以上の実務経験を有する者。また、本会の定める登山経験、技術基準を満たす者。
- ・以下の本会の「ガイド養成のための義務講習会」を受講する者。

#### ★本会主催の「ガイド養成のための義務講習会」

- ・無積雪期登攀ガイドング技術総合5日以上、・積雪期登攀ガイドング技術総合5日以上合計10日以上。
- ・山岳ガイド資格取得後、受講することができる。また受講を終了した項目から検定ができる。

#### ●受験申請書類（筆記試験申請時提出書類）

- ①受験申請書＋顔写真3枚
- ②登山歴報告書、ガイド歴報告書
- ③健康診断書（受験申込前6ヶ月以内に受診したもの）
- ④検定試験受検誓約書
- ⑤山岳遭難保険加入証書の写し

#### ●筆記試験

- ・合否判定は共通科目と専門科目と分けて行われ、両科目合格をもって一次試験合格とする。

##### 筆記試験料

「共通2科目」「専門2科目」 試験料 20,000円

「共通2科目」または「専門2科目」 試験料 各15,000円

※ 一次試験申請書には、合格している科目名を必ず記入すること。

（記入が無い場合は両科目受験とみなされる。）

- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除されるため、受験料は15,000円（一次試験合格者が二次試験の実技検定試験を受験できる。）

#### ●ガイド養成のための義務講習会および講習料

講習項目	講習地	日数	講習料	備考
無積雪期登攀ルートガイドング総合	日本国内	5日	¥60,000	検定は行なわない
積雪期登攀ルートガイドング総合	日本国内	5日	¥60,000	検定は行なわない
延べ日数		10日+		

●筆記試験科目

試験科目	出題内容
共通科目 基礎的知識	① スポーツ科学の知識 ② 地球物理、気象、動植物、地理、地質、地形に関する知識 ③ 農山村の経済と歴史、民俗の知識 ④ 山地、里地、里山の環境の知識 ⑤ 自然環境保全知識
共通科目 ガイド業務関連知識	① ガイド業務関連法（自然公園法、道路運送法、旅行業法、旅館業法、鳥獣保護法、森林・林業法、環境基本法、自然保護法など） ② ガイド倫理およびマナー
専門科目 登攀ガイド専門知識	① 登攀技術一般知識 ・岩稜 ・岩壁 ・沢 ・氷壁 ・雪稜 ・雪壁 ② 山岳の自然知識 ③ 山岳の地理、地形、気象に関する知識 ④ 積雪期の知識
専門科目 安全管理	① レスキューに関する知識 ② 安全管理知識および危急時対応に関する知識 ③ 登山時の健康管理に関する知識 ④ 環境要因による疾病に関する知識 ⑤ セルフ・レスキューに関する知識

- ・筆記試験実施は、他のガイド種別と同時に行う。
- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除される。
- ・合否判定は共通科目と専門科目と分けて行われ、両科目合格をもって一次試験合格とする

●講習および一次試験の有効年数

講習および一次試験の合格有効年数は、修了証または合格通知書発行日から5年目の当該日までとする。

●ガイド養成のための義務講習会

本講習は、一次試験合格後に受講することができる。

●実技検定試験（二次試験）\*一次試験合格者が二次試験の実技検定試験を受験できる

各実技科目の申請提出書類

- ①受験申込書
- ②最初の申請時提出書類から変更のあった内容についての再提出部分

●検定試験科目および検定試験料

検定項目	検定地	日数	検定試験料	備考
無積雪期登攀ルートガイディングおよびクライミング能力と技術指導	日本国内	5日	¥30,000	

積雪期登攀ルートガイドングおよび アイスクライミング能力と技術指導	日本国内	5日	¥30,000	
山岳スキーガイドング	日本国内	4日	¥45,000	免除科目(注1) 選択科目(注4)
オフ・ピステ スキーガイドング	日本国内	3日	¥35,000	免除規定(注2) 選択科目(注4)
雪崩対策技術総合	日本国内	3日	¥35,000	免除規定(注3)
レスキュー技術総合	日本国内	4日	¥45,000	
延べ日数(選択科目を除く)		17日+		

(注1) 別の職能でこの科目に合格した者は免除する。

(注2) 別の職能でこの科目に合格した者は免除する。

(注3) 別の職能でこの科目に合格した者は免除する。

(注4) 山岳スキーガイドング資格は、オフ・ピステ スキーガイドング資格を包括する。

### ● 検定試験内容

検定科目	検定内容
無積雪期登攀ルートガイドングおよび クライミング能力と技術指導	① 岩場でのルートガイドング技術(ルートグレード5級) ② コンテニューアス技術
	① フリークライミング能力(5, 11+) ② 指導力
積雪期登攀ルートガイドングおよび アイスクライミング能力と技術指導	① ミックス地帯でのルートガイドング技術(露営等を含む) ② コンテニューアス技術 ③ ルートファインディング技術 ④ 支点構築技術
	① 垂直部分10mを含む20mの氷壁をリードする能力 ② 氷壁での支点構築技術 ③ アイスクライミング指導能力
オフ・ピステ スキーガイドング(選択科目)	① 山岳スキーガイドング技術 ② 山岳における登行・滑降技術
山岳スキーガイドング (選択科目)	① 山岳スキーガイドング技術(露営等を含むロングルート) ② 山岳スキーレスキュー技術 ③ ホワイトアウトナビゲーション
雪崩対策技術 総合	① 雪崩予知技術 ② 雪崩対策の器具使用技術 ③ 雪崩からのレスキュー技術
レスキュー技術 総合	① 引き上げ技術10m以上 ② 背負ってのカウンターラッペルによる降ろし技術 ③ オーバーハングでの宙吊りからのレスキュー技術 ④ 自己脱出技術 ⑤ 背負っての搬送技術

	⑥ 応急処置
筆記試験	実技検定試験に付帯する筆記試験を行う場合がある

- 各科目の有効年数  
一次試験を除く、各科目の合格有効年数は、合格通知書発行日から3年目の当該日までとする。
- ガイド資格認定  
全科目に合格した者へは、ガイド資格認定通知書を発行する。認定通知書受給者には本会より所属団体を通じて新資格のガイド資格証（本会正会員証）を付与する。
- 資格更新について  
資格更新は3年毎に3日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。自己の有効期限内に満55歳に達したとき、その間1回以上の資格更新研修会を履修し次の資格有効期間を確定している者は、その後3年毎に2日間の机上研修を受講し更新申請する。  
(更新のながれ) ①資格更新研修申請書+研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書
- 実技検定では受験者4名以内に対して1名の検定員を配置する。
- 登攀ガイドで、国際山岳ガイド資格を受験する者は、下記の海外研修に参加しなければならない。
  1. 氷河を持つ山岳でのルートガイディング (UIAGM 加盟国) 10日以上。
  2. 氷河を持つ山岳での山岳スキルルートガイディング (UIAGM 加盟国) 10日以上。  
(但し、過去の山岳スキーガイディング上級検定合格者は除く)

### 国際山岳ガイド資格研修課程（国際アスピラン・ガイド＝暫定資格）

- 職能範囲  
日本国内で季節を問わず全ての山岳ガイドおよびインストラクター行為を行うことができる。  
国際山岳ガイド連盟（以下 UIAGM）加盟国において3年以上の実務経験を有する国際山岳ガイド（UIAGM）の管理・責任下で、同じ行程での国際山岳ガイド行為ができる。  
また、この暫定資格の取得後、4年以内に国際山岳ガイド資格を取得しなければならない。
- 受験資格  
満24歳以上で登攀ガイド資格を有し、且つ、登攀ガイドとして2年以上の実務経験を有する者。  
また、本会およびUIAGMの定める登山経験、技術基準を満たす者。  
  
(海外氷河研修受講の義務)  
登攀ガイドの国際アスピラン・ガイド候補生として以下の本会主催の海外氷河研修の経験。
  - ・氷河を持つ山岳でのルートガイディング (UIAGM 加盟国) 10日以上。
  - ・氷河を持つ山岳での山岳スキルルートガイディング (UIAGM 加盟国) 10日以上。

- ・ この研修に関しては、それぞれ終了した項目から検定ができる。
- ・ 但し、過去の山岳スキーガイドング上級検定合格者は除く

●受験申請書類（筆記試験申請時提出書類）

- ① 受験申請書＋顔写真3枚
- ② 登山歴報告書、ガイド歴報告書
- ③ 海外氷河研修修了書（上記経験を証明する報告書）
- ④ 健康診断書（受験申込前6ヶ月以内に受診したもの）
- ⑤ 検定試験受験誓約書
- ⑥ 山岳遭難保険加入証書の写し

●筆記試験

- ・ 合否判定は共通科目と専門科目と分けて行われ、両科目の合格をもって一次試験合格とする。

筆記試験料

「共通2科目」「専門2科目」 試験料 20,000円

「共通2科目」または「専門2科目」 試験料 各15,000円

- ※ 一次試験申請書には、合格している科目名を必ず記入すること。

（記入が無い場合は両科目受験とみなされる。）

- ・ 他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除されるため、受験料は15,000円

●筆記試験科目

試験科目	出題内容
共通科目 基礎的知識	<ol style="list-style-type: none"> <li>① スポーツ科学の知識</li> <li>② 地球物理、気象、動植物、地理、地質、地形に関する知識</li> <li>③ 農山村の経済と歴史、民俗の知識</li> <li>④ 山地、里地、里山の環境の知識</li> <li>⑤ 自然環境保全知識</li> </ol>
共通科目 ガイド業務関連知識	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイド業務関連法（自然公園法、道路運送法、旅行業法、旅館業法、鳥獣保護法、森林・林業法、環境基本法、自然保護法など）</li> <li>② ガイド倫理およびマナー</li> </ol>
専門科目 国際山岳ガイド専門知識	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 諸外国の山岳に関する規則</li> <li>③ 登攀技術一般知識 ・岩稜 ・岩壁 ・氷壁 ・雪稜 ・雪壁 ・氷河</li> <li>③ 氷河域における山岳スキー一般知識</li> <li>④ ヨーロッパの山岳の自然知識（地理、地形、気象など）</li> <li>⑤ 外国語</li> </ol>
専門科目 安全管理	<ol style="list-style-type: none"> <li>① レスキューに関する知識</li> <li>② 海外（アルプス）における安全管理知識および危急時対応に関する知識</li> <li>③ 登山時の健康管理に関する知識</li> <li>④ 環境要因による疾病に関する知識</li> <li>⑤ セルフ・レスキューに関する知識</li> </ol>



- ・筆記試験の実施は、他のガイド種別と同時に行う。
- ・他の資格で一次試験合格している場合は共通科目が免除される。
- ・合否判定は共通科目と専門科目と分けて行われ、両科目合格をもって一次試験合格とする

●一次試験の有効年数

一次試験の合格有効年数は、合格通知書発行日から5年目の当該日までとする。

●実技検定試験（二次試験）

各実技科目の提出書類

受験申込書

最初の申請時提出書類から変更のあった内容についての再提出部分

●検定試験科目および検定試験料

検定項目	検定地	日数	検定試験料	備考
氷河を持つ山岳でのルートガイドング	UIAGM加盟国	10日	実費	
氷河を持つ山岳での 山岳スキールートガイドング	UIAGM加盟国	10日	実費	
延べ日数		20日		

●検定試験内容

検定科目	検定内容
氷河を持つ山岳でのルートガイドング	① 氷河、岩場、ミックス地帯でのガイドング技術 ② 氷河、岩場でのレスキュー技術 ③ 岩場、ミックス、アイスでのクライミング能力 ④ フリークライミング能力 (5, 12-) ⑤ 支点構築技術 ⑥ 指導力
氷河を持つ山岳での 山岳スキールートガイドング	① 氷河地帯での山岳スキーガイドング技術 ② 氷河地帯での山岳スキーレスキュー技術 ③ ナビゲーション技術 ④ 登高、滑降能力 ⑤ 雪崩対策技術 ⑥ 露営技術 ⑦ 指導力
筆記試験	実技検定試験に付帯する筆記試験を行う場合がある

●各科目の合格有効年数

一次試験を除く、各科目の合格有効年数は、合格通知証発行日から4年目の当該日までとする。

●ガイド資格認定

全科目に合格した者へは、ガイド資格認定通知書を発行する。認定通知書受給者には正会員団体より年会費の納付の確認の後、本会よりさらにガイド資格証（本会正会員証の国際アスピラン・ガイドに変更したもの、または特別に作成したもの）、を貸与する。

●実技検定では受験者4名以内に対して1名の検定員を配置する。

国際山岳ガイド

\* 以下の内容は、平成22年度以降に国際アスピラン・ガイド資格取得者に適用される。  
平成21年度までの国際アスピラン・ガイド資格取得者は従来の規定が適用される。

●職能範囲

国内はもとより国際山岳ガイド連盟（以下 UIAGM）加盟国において、その加盟国の法律に反しない範囲で、すべての山岳ガイドおよびインストラクター行為を行うことができる。

●受験資格

満26歳以上で本会の「国際アスピラン・ガイド」資格を有し、かつ、3年以上の実務経験を有する国際山岳ガイドの管理・責任下で、国際アスピラン・ガイドとしてUIAGM諸国で2年以上の実務経験（注）を有する者。

また、本会およびUIAGMの定める登山経験、技術基準を満たす者。

（注）国際アスピラン・ガイド資格取得後、氷河を持つ山岳でのルートガイディング（UIAGM加盟国）10日以上、および氷河を持つ山岳での山岳スキーガイディング（UIAGM加盟国）10日以上で、合計30日以上の実務経験があり、かつ、実務経験30日以上のうち15日以上は本会所属の国際山岳ガイド有資格者の管理・責任下であること。

この受験申請は、随時行うことができる。

●受験申請書類（書類審査申請時提出書類）

- ①受験申請書+顔写真1枚
- ②登山歴報告書、ガイド歴報告書
- ③海外ガイド経験履歴書（上記の受験資格経験を証明する報告書 \*様式自由）
- ④健康診断書（受験申込前6ヶ月以内に受診したもの）
- ⑤山岳遭難保険加入証書の写し

●書類審査料

5,000円  
申請書類発送

●書類審査

受験申請受理後、国際部会において国際山岳ガイド連盟の求める登山経験、ガイド経験に基づき書類審査を行う。

●実技検定試験

書類審査通過後に、国際部会が指定する年度内最後の「資格更新研修会」または「機能別資格検定実技試験」において、総合実技検定を行う。

この検定試験の日数は3泊4日以上とする。

●検定試験料

30,000円

●ガイド資格認定

合格した者へは、ガイド資格認定書を発行する。認定通知書受給者には所属団体を通じ新ガイド資格証（本会正会員証の国際山岳ガイドに変更したもの）、国際山岳ガイド証、国際山岳ガイドバッヂを付与する。尚、年会費は年度中の場合、資格間の差額のみ徴収する。

●資格更新

資格更新は3年毎に3日間以上の資格更新研修を受講し、更新申請する。自己の有効期限内に満55歳に達したとき、その間1回以上の資格更新研修会を履修し次の資格有効期間を確定している者は、その後3年毎に2日間の机上研修を受講し更新申請する。

(更新のながれ)

①資格更新研修申請書＋研修費納入⇒②更新研修⇒③更新研修修了書

以上